

おやこであそぼう ～ 絵本と、わらべうたの時間 ^{zz}～

2015年 9月16日



☆絵本・紙芝居

おつきさまなみてる (岩崎書店) 作・絵：なかじまかおり

おやすみなさい コッコさん (福音館書店) 作・絵：片山健

しろくまちゃんのほっとけーき (こぐま社) 作・絵：わかやまけん

おおきくおおきくおおきくなあれ～紙芝居～ (童心社) 作・絵：まついのりこ

☆わらべた・童謡

♪うさぎ

うさぎ うさぎ
なみてる はねる
じゅうごやおつきさま
みてるはねる



♪おつきさまえらいの

おつきさま えらいの
かがみのようになったり
くしのようになったり
はる なつ あき ふゆ
にほんじゅんを てらす

♪ちよちよち あわわ

ちよちよち あわわ
かいぐりかいぐり とつとのめ
おつむ てんてん ひじ ぽんぽん



☆こころとからだのおはなし (7月のお話)

暑かった夏、そして、しとしとと続いた雨のあと、
急に涼しくなったかと思ったら、先週の大雨と、
めまぐるしくお天気が変化しました。

季節の変わり目、そして、もうすっかり秋になりました。

みなさま、お元気でいらっしゃいましたか？

まだまだ傷跡の癒えない東日本大震災では津波で、先週の大雨では川が氾濫して、
住宅や田畑が水浸しになりました。

でも、全ては、かみさまがお創りになったもの。

最近、私たちは「畏れる」という言葉を、忘れていたかもしれません。「畏」には、
「おそれる」だけでなく「つつしむ」「かしこまる」という意味があるそうです。

シスター勝が見せてくれた「海」を覚えていらっしゃいますか？

小さな画面なのに、どこまでも広がって、静寂な中に穏やかな波の音が聞こえ、
大きく息を吸い込みたくなるほど、気持ちよい海でした。

決して、こわくはありませんでした。



荒れ狂う川も海も、崩れてきた山々も、いつもは穏やかで、
私たちの毎日の生活を豊かにしてくれる多くのものを
育てている場所です。

目を閉じたら、夏の海の音が聞こえてきませんか？
かみさまは、私たちのために「怖い」ものを
お創りにはならなかったと思います。
海は「怖い」面もあるかもしれませんが、
「素敵な」面もいっぱいあります。



小さなお子さんとの毎日は、子どもたちが引き起こす
奇想天外な行動との闘いかもしれませんが、
その中に、子どもたちの「素敵な」面を見つけてみるというのは、
いかがでしょうか？
お子さんに言葉を発する前に、目を閉じて、あの「海」の色と、音を、
思い出してみてください。
そこには、かみさまの色と音が、広がると思いますよ。
あら、秋の美味しいにおいも～～



次回は10月21日(水)10:30～

紹介本

おつきさまこんばんは (福音館書店) 作・絵：林明子

おつきさまこっちむいて (福音館書店) 作：片山令子／絵：片山健

まんまるおつきさん (偕成社) 作：ねじめ正一／絵：さいとうしのぶ

おつきみおばけ (ポプラ社) 作・絵：せなけいこ

パパ、お月さまとって！ (偕成社) 作・絵：エリック・カール

おやすみなさい おつきさま (評論社)

作：マーガレット・ワイズ・ブラウン／絵：クレメント・ハード

おひさまとおつきさまのしたで (教育画劇)

作：マーガレット・ワイズ・ブラウン／絵：黒井健

きょうのおやつは (福音館書店)

作・絵：わたなべちなつ



クリスト・ロア修道会

TEL 042 (465) 8620